

SEGA
TOYS



第14期 事業報告書
2003年4月1日から2004年3月31日まで

株式会社 **セガトイズ**

本 社：〒111-0052 東京都台東区柳橋1-4-4 ヨシナガビル
TEL 03-5822-6222 (代表)

<http://www.segatoys.co.jp/>

株式会社 **セガトイズ**

証券コード 7842

新価値創造

初めて経験する、楽しく、心豊かな生活を提案し、あなたの“思わずにっこり”を創ります。

セガトイズは「人間中心」人間を中心と考え、「創造無限」無限大の想像力を活かして、人々の幸福を作り出してまいります。



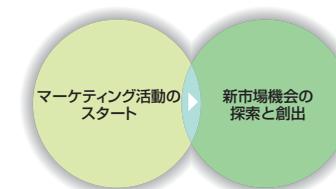
セガトイズは従来の玩具業界の枠にとらわれない、エンターテインメント・イノベーターとして全く新しい企業“ニューマーケティングトイカンパニー”を目指しています。工場等の製造設備を持たず、製品開発、マーケティング等に経営資源を集中し、製品の開発はデジタル等の新技術を活用した分野等いくつかのポイントに特化し、これまでになかった新しい遊びを提案し、新しいマーケットを開拓しています。

最先端技術を駆使し、マーケットを創造する最先端の経営を目指しておりますが、その一方で人々の「遊び」は極めて普遍的で、時代、年齢、地域等に関係なく、遊びを求めるマーケットはどこにでも存在します。私たちは最先端の経営と最先端の技術で、古来からある人々の「遊び心」を満足させ、豊かな気持ちを育む社会づくりを目指してまいります。

For the next smile

マーケティング活動が市場を創出し顧客価値を最大にします

セガトイズにおいてマーケティングとは事業経営を指します。マーケティングが経営活動の全てをコントロールします。



Newコンセプトの創造

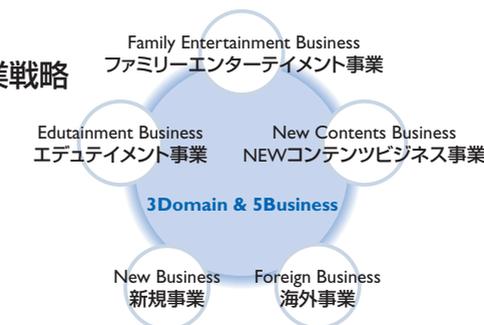
顧客のウォンツを見つけ、創造し、それを顧客満足におきかえる方法を生み出す。それが、マーケッターの市場作りの領域。セガトイズの全ての業務に関わる人がこのマーケティングマインドを持って自分の仕事に取り組んでいます。すなわち「マーケティング活動が市場を創出し、顧客価値を最大にする」ことは当社の全ての業務に当てはまるのです。

共生共栄

ネットワーク時代の最も重要な哲学と言える「共生」を基本に、パートナーシップの精神を大切にしながら、アライアンスに積極的に取り組み、その中で、ビジネスと社会・文化の発展と繁栄を目指します。

マーケティング主導で進める3つの事業ドメインと5つの事業戦略

- 3つの事業ドメイン
- Edutainment Business
エデュテインメント事業
 - Family Entertainment Business
ファミリーエンターテインメント事業
 - New Contents Business
NEWコンテンツビジネス事業



株主の皆様には、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。第14期事業報告書（2003年4月1日から2004年3月31日まで）をお届けするにあたり、日頃よりのご支援に心から深く感謝をし、ご挨拶申し上げます。

さて、当期の業績につきましては、長期化するイラク情勢の不透明感や為替相場の急激な変動、厳しい雇用環境と個人消費の低迷など依然として厳しい状況が続いております。玩具業界全体でヒット製品も少なく、また少子化の進行と消費者ニーズの多様化により業界を取り巻く環境は引き続き厳しい状況となっております。このような環境の中、当社はデジタル技術等を積極的に活用し、新しいマーケットを開拓してまいりました。特に前期より定番製品となっております「お茶犬」の製品ラインナップを充実させ、また株式会社ホリプロとのアライアンスの強化など、異業種との積極的なアライアンスを展開してまいりました。また、アンパンマンシリーズも引き続き好調な売れ行きとなっております。

しかしながら、最大の商戦期でありますクリスマス・年末年始商戦において、計画を大幅に下回る結果となり、通期業績を下方修正せざるを得ない状況となりました。上半期までの好調な業績の推移から、下半期の見通しとして達成できるものと考えクリスマス・年末年始商戦へ集中的に新製品を投入するなど積極的な事業展開を行いました。大幅な販売不振により製品在庫が増大する結果となりました。この増加した在庫等は、損益構造改革を断行し、事業の立て直しを図ると共に来期以降着実な利益体質への転換を図るため、当期末において一括廃棄等の処理を行うことといたしました。

これらの結果、当期の業績は、売上高8,528百万円（前期比10.4%減）、経常損失356百万円（前期は経常利益220百万円）、当期純損失982百万円（前期は当期純損失50百万円）となりました。

このような業績の結果、当期末における配当を無配とさせて頂くこと深くお詫び申し上げますと共に、重点課題であります株主様への利益還元につきましても、今後も業績

に応じた適正な利益配分に対する取り組みを積極的に進めてまいります。

次年度以降につきましては、当社の事業の柱である「エデュテイメント事業」「ファミリーエンターテイメント事業」「NEWコンテンツビジネス事業」の3分野へ経営資源を集中し、各分野においてアライアンスを強化するとともに、PlayTV、アクアペット等をはじめとする「海外事業」の積極的な展開と、ムシキング、ピコランドなど株式会社セガとの協業強化を行ってまいります。また、中期的な経営戦略のもと以下の「攻めの戦略」と「守りの戦略」の6つの基本施策を積極的に推進してまいります。

■攻めの戦略

1. 競争力・差別性のある事業への選択と集中
2. グローバル事業への積極的な展開
3. 中期「成長」に向けた技術開発の活性化
4. グループシナジー効果発揮による、事業領域の拡大

■守りの戦略

5. 損益構造改革
6. リスク管理経営の徹底

以上の施策につきまして、中期的な戦略として積極的に取り組んでまいりますので、株主の皆様におかれましては、今後ともより一層のご支援とご指導、ご鞭撻を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

2004年6月



株式会社セガトイズ
代表取締役社長

国分 功

この冊子をご覧いただくにあたって

本冊子は、株主・投資家の皆様に当社の経営方針、計画、財務状態等の情報を提供し、当社をより深くご理解いただくことを目的としており、投資勧誘を目的としたものではありません。従って投資に関する決定は利用者ご自身の判断において行われるようお願いいたします。

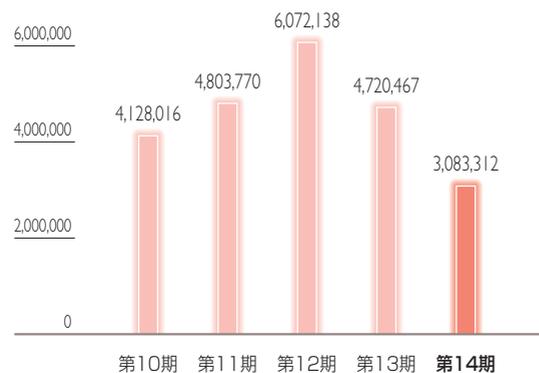
エデュテイメント事業

教育事業としてトータルなマーケティングを行うことによりエデュテイメント売場の拡大、知育マーケットでの事業拡大を図り、オンリーワン事業としての中長期への安定化を目指します。

エデュテイメント事業につきましては、ピコシリーズでは、「10周年記念ソフト」として過去に販売したソフトから、特に人気の高い10タイトルを発売いたしました。ペリフェラルソフトにつきましても、男児に一番の人気を誇るドライブをテーマとした「ドライブピコ ゴーゴ！ カーナビツアーリング！」を発売いたしました。しかしながら、当期においてはピコ本体の流通調整を行ったことに加え、クリスマス・年末商戦での販売が計画を下回り、売上高は前年比38.0%減となりました。キッズモバイルシリーズにつきましては、「ペットノート2」がクリスマス商戦において業界No.1アイテムとなり、次年度以降さらに売上拡大が見込まれる商品となり前年比16%増となりました。モバイルコンテンツシリーズについては、「UFOキャッチャー」に加え新たなコンテンツとして「お茶犬」「モバイルキューブリック」を投入いたしました。その結果、当期の売上高は3,083百万円（前期比34.7%減）となりました。

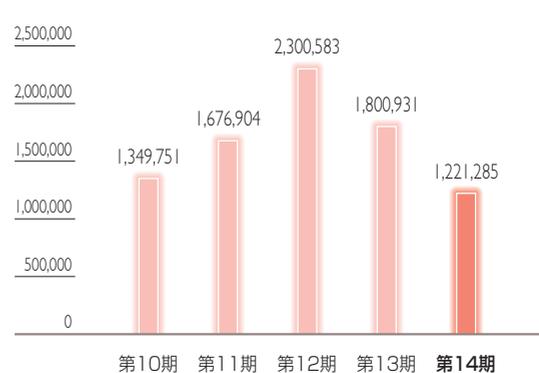
■ 売上高推移

(単位：千円)



■ 売上総利益

(単位：千円)



Edutainment Business

キッズコミュニケーション ピコ

1993年の発売以来、本体：330万台、ソフト：1,100万本/約300タイトルを記録しているロングセラーアイテムです(2003年12月末現在)。

小さなお子様でも一人で簡単に遊べるよう、ペンと絵本型のソフトで操作できる仕組みとなっております。

玩具メーカー・出版社等とのアライアンスによる豊富なソフトラインナップも、ピコが長きにわたって支持されてきた魅力のひとつです。



ココパッド[®]ラーニングシステム

米本国にてリープフロッグ社より、1999年の発売以来、累計860万台以上販売されたヒット商品の日本向け仕様。幅広いジャンルのソフトを通じて、新しい形の学習を提案します。



© 1999-2004 LeapFrog Enterprises, Inc.
© ECC JUNIOR 2004
© 2004 Benesse Corporation © 2004 Berlitz Investment Corporation

リープフロッグ[®]乳幼児シリーズ

同じくリープフロッグ社が誇る、新生児から未就学児までを対象とした知育玩具。



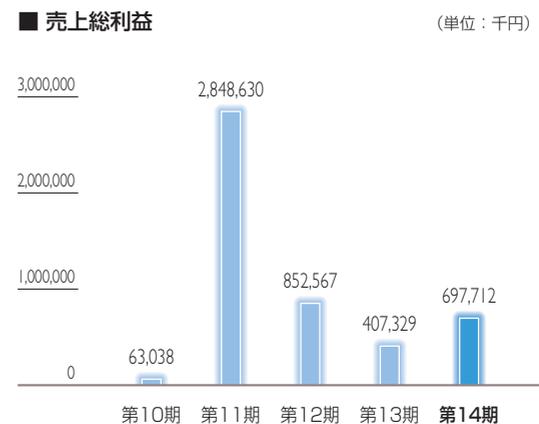
© 2004 LeapFrog Enterprises, Inc.

ファミリーエンターテイメント事業

当社の強みであるデジタル技術（IC・センサー・メカトロニクス）に玩具開発のノウハウを活かし、オールターゲット（全年齢・全世帯・全世界）に向け、新しい付加価値を創出していきます。

Family Entertainment Business

ファミリーエンターテイメント事業につきましては、本物のペットにとって代わる、代理ペットとして「夢ねこ」、「夢こねこ」が引き続き好調に推移したことに加え、新製品「夢いぬ」「おいで！ワンちゃん」を発売し、次年度以降につきましても、一家に一台のファミリーエンターテイメントペットとして大きな可能性が開けました。また、のんびりこちよい気分にしてくれるコミュニケーションペット「ぶくぶくエンジェル」は癒し系商品として人気アイテムとなりました。その結果当期の売上高は2,127百万円（前期比45.2%増）となりました。当社として当事業分野はプーチに代表されるとおり、デジタル技術（IC・センサー・メカトロニクス）に玩具開発のノウハウを活かし、オールターゲット（全年齢・全世帯・全世界）に向け、新しい付加価値を創出してまいります。



ニャーミー

究極の代理ペットとして、2004年夏に登場します。



夢ペットシリーズ

「夢ねこ」を中心とした、当社の代表的な癒し系アイテム。「世話がいらぬ」「体質的に本物は飼えない」などの理由により、今後ますます代理ペットの市場は拡大すると予想します。



夢ねこ

デジタルキッズシリーズ

3～10才をメインターゲットに子ども向けデジタル玩具を展開。

パソコン玩具を核に「コンパクト」や「おしゃれ遊び」などNo.1市場を目指します。



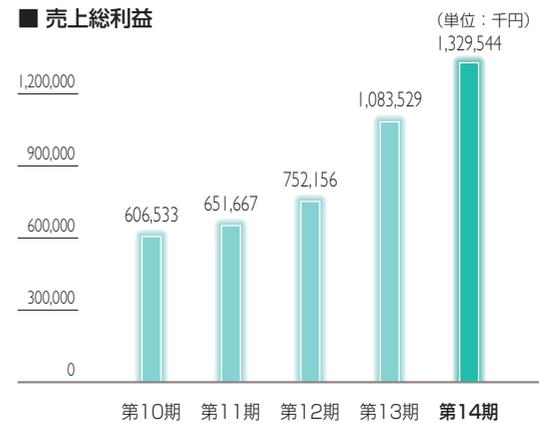
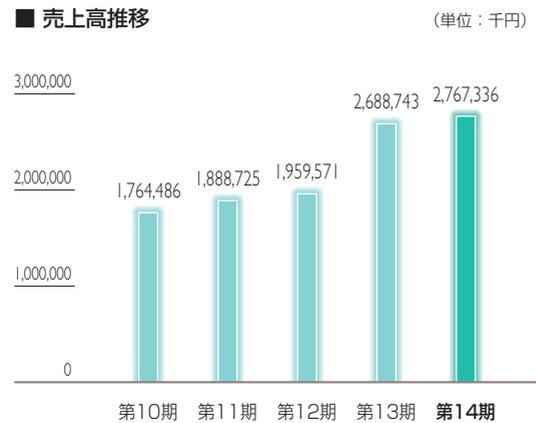
ペットノート2



NEWコンテンツビジネス事業

様々な種別のキャラクターコンテンツ（オリジナル・ソーシング・アライアンス）を、様々なアライアンス活動により新しいビジネスモデルを構築し、玩具や玩具周辺事業・メディア・チャンネル・サービス等具体化していきます。

NEWコンテンツビジネス事業につきましては、長期定番のアンパンマンシリーズとして「アンパンマンミュージアム」「コロロン」等が依然として根強い人気商品であり、昨年に引き続き好調に推移いたしました。ミッフィーシリーズ、お茶犬シリーズにつきましては、昨年実績を下回る結果となりましたが、NEWキャラクターシリーズとして、親子二世帯キャラクター「キキ&ララ つきのおうち」の販売が好調に推移し、大人気のTVアニメ「あたしんち」の「きてきて あたしんち」につきましては、爆発的なヒットとなり品切れ状態になるなど、新アイテムの定番化へ向けた期待できる商品も生まれてまいりました。その結果、当期の売上高は2,767百万円（前期比2.9%増）となりました。当事業分野につきましては、さまざまなキャラクターコンテンツ（オリジナル・ソーシング・アライアンス）を、様々なアライアンス活動により、新しいビジネスモデルを構築し、玩具や玩具周辺分野へ事業展開してまいります。



New Contents Business

お茶犬

新しいキャラクタービジネスモデルを確立した代表的キャラクター。
(株)ホリプロとの取組みを通じ、幅広い分野で商品化が実現。



© SEGA TOYS / HORIPRO 2002



その他キャラクタービジネス

「それいけ! アンパンマン」「キキ&ララ」「ミッフィー」など、幼児を中心としたキャラクターや「ももぶた」などオリジナルキャラクターのマーチャンダイジングを手掛けています。



© San-X/SEGA TOYS 2004



ももぶた

ももぶた

2004年春、文具を中心としたキャラクターを手掛けるサンエックス(株)とアライアンスを組んだ話題の最新キャラクター。



© やなせたかし/フレール館・TMS・NTV



コロロンタワー

あたしんち

© ママレード/メディアファクトリー・テレビ朝日・シンエイ・ADK



きてきて あたしんち

Kiki&Lala

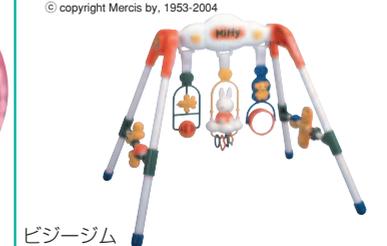
© 1978,2004 SANRIO CO., LTD. APPROVAL NO.S5041406

つきのおうち



Miffy

Illustrations Dick Bruna © copyright Mercis by, 1953-2004



ビジージム

新しいトイビジネスを創造し、世界中のお客様に「笑顔」と「感動」をお届けするため、情報・技術・マーケティング等をグローバルに構築、展開してまいります。また、親会社であります株式会社セガのアミューズメント事業など、グループシナジーを最大化するため多方面での取り組みや事業化も積極的に推進してまいります。具体的には、ボーイズ事業といたしまして、株式会社セガのアミューズメント機器で爆発的にヒットしている「甲虫王者 ムシキング」の玩具マーチャライジングをはじめとして、男児向け製品も積極的に手がけております。

海外事業につきましては、海外メーカー、流通企業との連携により、アメリカ、アジア、欧州を中心に世界マーケットでの販売ネットワークを構築し、当期においては、Wild Planet社（北米）により日本バージョン3種とオリジナル9種のアクアペットをアジアを除く全世界で販売が開始されております。また、海外メーカーで開発された商品を日本向けにアレンジし、国内市場に送り出しております。



2004年7月販売予定



新規事業

新しいトイビジネスを創造し、世界中のお客様に笑顔と感動をお届けするため、情報・技術・マーケティング等をグローバルに構築・展開していきます。また、親会社に当たる株式会社セガのAM事業など、グループシナジーを最大化する多方面での取り組みや事業化も推進いたします。

ボーイズ事業

(株)セガのアミューズメント機器で爆発的にヒットしている「甲虫王者 ムシキング」の玩具マーチャライジングをはじめ、男児向け製品も積極的に手掛けていきます。



アミューズメント事業

家庭向け玩具のノウハウとアミューズメント施設とのコラボレーションにより、当社の代表する知育玩具「ピコ」が、アミューズメント機器「ピコランド」としてアレンジされ登場するのを皮切りに、今後拡大展開していきます。

© 1976, 2004 SANRIO, CO., LTD. APPROVAL NO. S5041406



海外事業

海外メーカー、流通企業との連携により、アメリカ、アジア、欧州を中心に世界マーケットでの販売ネットワークを構築しています。

また、海外メーカーで開発された商品を日本向けにアレンジし、国内市場に送り出しています。

アクアペット

日本バージョン3種とオリジナル9種をWild Planet社（北米）による販売でアジアを除く全世界で販売しています。



キャットアタック

Takara USA社（北米）から2004年7月に販売予定。



貸借対照表

Non-Consolidated Balance Sheet

(単位：千円)

科 目	第13期 (2003年3月31日現在)	第14期 (2004年3月31日現在)
(資産の部)		
流動資産	4,704,023	3,365,016
現金及び預金	760,101	589,735
受取手形・売掛金	2,653,585	1,491,430
棚卸資産	864,337	725,213
その他の流動資産	425,998	558,633
固定資産	532,916	611,327
有形固定資産	195,739	138,763
無形固定資産	73,287	73,399
投資その他の資産	263,889	399,164
繰延資産	—	13,033
資産合計	5,236,939	3,989,376
(負債の部)		
流動負債	2,543,018	1,637,282
支払手形・買掛金	1,028,971	530,937
短期借入金	600,000	300,000
一年以内返済予定社債	—	50,000
一年以内返済予定長期借入金	200,000	260,000
その他の流動負債	714,045	496,342
固定負債	814,417	1,506,367
長期借入金	700,000	710,000
社債	—	635,000
その他の固定負債	114,417	161,366
負債合計	3,357,435	3,143,649
(資本の部)		
資本金	516,000	518,150
資本剰余金	537,177	539,327
利益剰余金	826,326	△211,960
<small>その他有価証券評価差額金</small>	—	209
資本合計	1,879,503	845,727
負債及び資本合計	5,236,939	3,989,376

(注) 金額につきましては表示単位未満は切り捨てております。

Point

当期は総資産は3,989百万円と前期に比べて1,247百万円(前期比23.8%減)減少いたしました。年末年始商戦における販売の不振により流動資産並びに流動負債ともに減少をいたしました。また、増加した棚卸資産につきましても当期において整理をし、減少をいたしました。

損益計算書

Non-Consolidated Statement of Income

(単位：千円)

科 目	第13期 (2002年4月1日から2003年3月31日まで)	第14期 (2003年4月1日から2004年3月31日まで)
売上高	9,520,061	8,528,700
売上原価	6,038,589	5,192,792
売上総利益	3,481,472	3,335,908
販売費及び一般管理費	3,148,735	3,495,061
営業利益(又は営業損失(△))	332,736	△159,153
営業外収益	1,615	16,442
営業外費用	114,091	213,957
経常利益(又は経常損失(△))	220,260	△356,668
特別損失	302,642	880,530
税引前当期純損失	82,381	1,237,198
法人税、住民税及び事業税	101,266	4,141
法人税等調整額	△132,673	△258,604
当期純損失	50,974	982,736
前期繰越利益	877,300	770,776
当期末処分利益(又は当期末処理損失(△))	826,326	△211,960

(注) 金額につきましては表示単位未満は切り捨てております。

Point

当期は、年末年始における販売不振により売上高は8,528百万円と前期に比べ991百万円(10.4%減)減少いたしました。当期において、増加した在庫等を特別損失として一括処理を行ったため、当期純損失が982百万円となりました。

キャッシュ・フロー計算書

Non-Consolidated Statement of Cash Flows

(単位：千円)

科 目	第13期 (2002年4月1日から2003年3月31日まで)	第14期 (2003年4月1日から2004年3月31日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	268,037	△213,530
投資活動によるキャッシュ・フロー	△199,230	△321,061
財務活動によるキャッシュ・フロー	359,837	384,392
現金及び現金同等物の増加額 (△減少額)	408,671	△170,366
現金及び現金同等物の期首残高	346,429	755,101
現金及び現金同等物の期末残高	755,101	584,735

(注) 金額につきましては表示単位未満は切り捨てております。

利益処分

Surplus Statement

(単位：千円)

科 目	第13期	第14期
当期末処分利益 (又は当期末処理損失 (△))	826,326	△211,960
利益処分額	55,550	—
配当金	55,550	—
役員賞与金	—	—
次期繰越利益	770,776	△211,960

(注) 金額につきましては表示単位未満は切り捨てております。

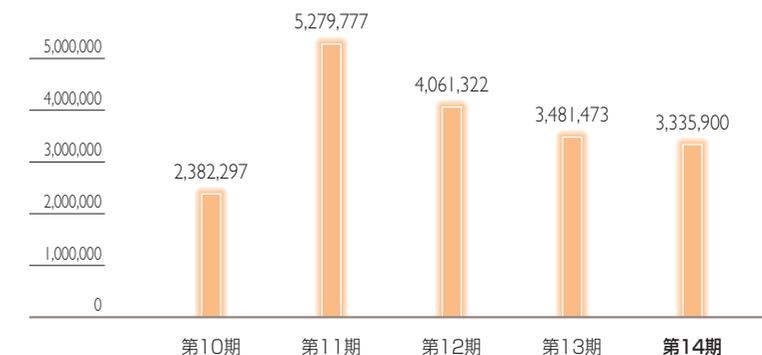
Point

当期は、販売の不振により売上高の減少並びに特別損失の発生により、211百万円の未処理損失となりました。次年度以降早期に業績を回復させ、当社の重点課題であります利益還元につき、業績に応じた適正な還元ができるよう全社一丸となって努めてまいります。

業績の推移

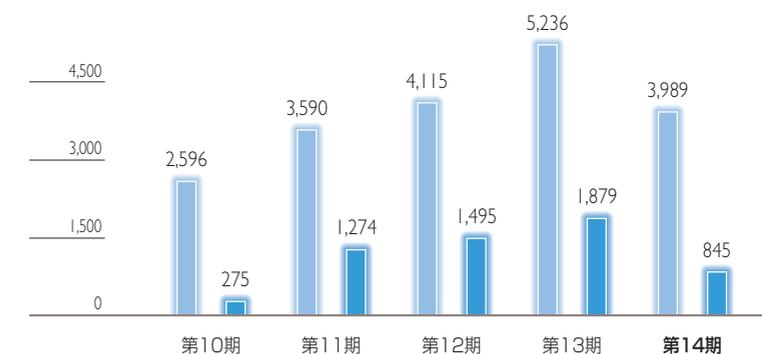
Financial Highlights

■ 売上総利益 (単位：千円)



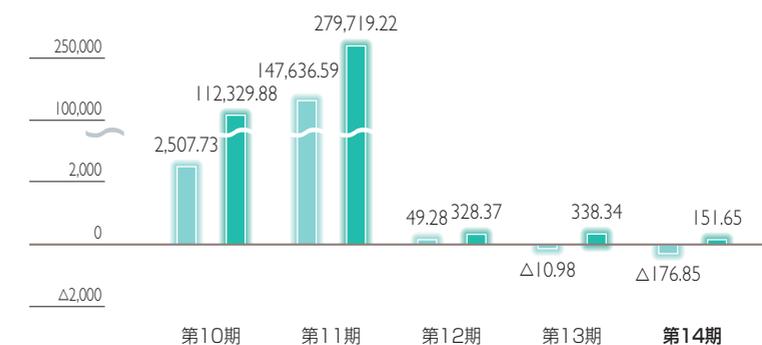
■ 総資産・株主資本の推移 (単位：百万円)

■ 総資産
■ 株主資本



■ 1株当たり利益・1株当たり株主資本の推移 (単位：円)

■ 1株当たり利益
■ 1株当たり株主資本



※平成13年4月1日に合併により1株を50,000円から50円に額面変更しております。

株式の状況

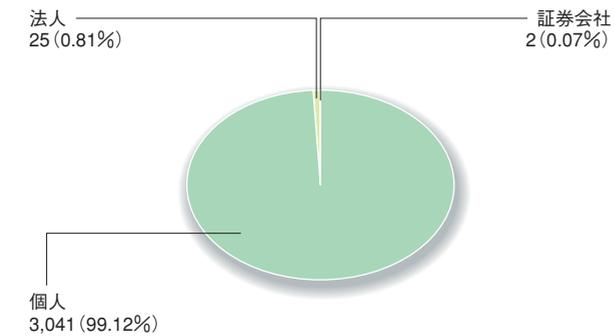
(2004年3月31日現在)

Stock Information

- ①会社が発行する株式の総数 18,220,000株
- ②発行済株式の総数 5,576,500株
- ③一単元の株式数 100株
- ④株主数 3,068名
- ⑤大株主（上位10名）

大株主名	当社への出資状況	
	持株数(株)	議決権比率(%)
株式会社セガ	3,750,000	67.25
セガトイズ従業員持株会	359,800	6.45
國分功	51,400	0.92
根本政男	31,000	0.56
横関謙治	26,400	0.47
金井明彦	25,700	0.46
吉野繁	21,400	0.38
今井康太	21,400	0.38
鈴木久司	20,000	0.36
永井明	20,000	0.36

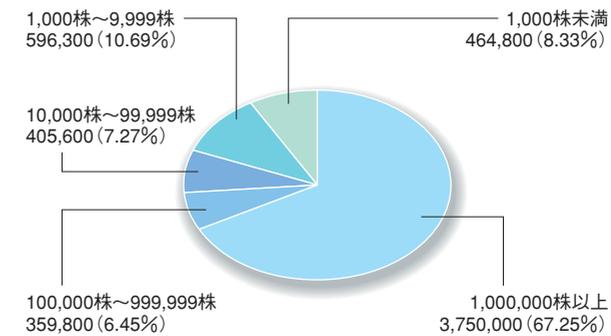
所有者別株式状況 (単位：数)



株主メモ

決算期 毎年3月31日
定時株主総会 毎年6月
基準日 毎年3月31日
 上記の他必要がある場合は、あらかじめ公告して基準日を定める
利益配当金受領株主確定日 3月31日および中間配当金の支払を行うときは9月30日
名義書換代理人 大阪市中央区北浜四丁目5番33号 住友信託銀行株式会社
同事務取扱場所 東京都千代田区丸の内一丁目4番4号 住友信託銀行株式会社 証券代行部
(郵便物送付先) 〒183-8701 東京都府中市日鋼町1番10号 住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先) (住所変更等用紙のご請求) ☎0120-175-417 (その他のご照会) ☎0120-176-417
同取次所 住友信託銀行株式会社 本店および全国各支店
公告掲載新聞 日本経済新聞

所有数別株式状況 (単位：株)



会社概要

(2004年3月31日現在)

Company Profile

- 商号 株式会社セガトイズ
- 英文商号 SEGA TOYS, LTD.
- 創業 1991年2月
- 代表者 國分功
- 所在地 東京都台東区柳橋一丁目4番4号 ヨシナガビル
- 資本金 518百万円
- 従業員数 102名

役員 (2004年6月29日現在)

- 代表取締役社長 國分功
- 取締役副社長 中村俊一
- 常務取締役 横関謙治
- 常務取締役 吉野繁
- 取締役 金井明彦
- 取締役 山重佳治
- 取締役 岡村秀樹
- 取締役 佐藤秀樹
- 常勤監査役 辻勇
- 常勤監査役 櫻井大三郎
- 監査役(非常勤) 菅野 暁

組織図

